

事前のお知らせ



**ねりまがもっと好きになる写真展を区民とデザイナーが協働企画！
ねりまの風景展 - ソラとまちがある暮らし - を開催**

と き 2月10日(火)～2月22日(日) 午前9時～午後8時

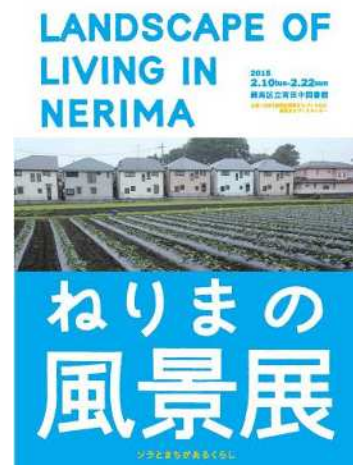
と ころ 練馬区立南田中図書館 (南田中5-15-22)

2月10日から区立南田中図書館で、「ねりまの風景展 ソラとまちがある暮らし」を開催する。区民が練馬の風景を映した写真、約60点を展示する。

テーマは、「ねりまの暮らし」。農の風景や昔ながらの商店街のにぎわいなど、長い時間を経て根付いた暮らしの風景を紹介する。また、観光ポスター風にデザインした作品も展示し、見慣れているようで新しいねりまの魅力を発信する。

企画・運営は、区民とグラフィックデザイナーの田崎はじめさん、千葉泉さん、練馬まちづくりセンターでつくる「ソラまち実行委員会」が担い、まさに区民から区民へ練馬の魅力を伝える写真展となっている。

主催する練馬まちづくりセンターの担当者は、「作品を通じて、練馬に住みたい、住みたいと感じてもらえたらうれしい」と話している。入場無料。



ねりまの風景展ポスター

【撮り歩きワークショップ「ソラとまち」とねりまの風景展】

練馬まちづくりセンターでは、景観まちづくりの普及啓発講座として、デジタルカメラでまちを撮り歩くワークショップ「ソラとまち」を平成23年度から実施している。今年度は、区内の南大泉、千川通り、向山で開催した。「カメラを通して見慣れたまちの風景を眺めると、そのまちの個性が見えてくる」と、リピーターも多い人気講座となっている。

この講座で撮影した写真を展示する写真展が「ねりまの風景展」である。年間3回のワークショップで集まった約8,000点の風景写真から、より「ねりまらしさ」が映し出された約60点を展示する。昨年度は4日間の開催で約500名の入場者があった。

【同時開催イベント】 いずれも南田中図書館にて実施

<トークセッション >

- 体感的「ねりまの風景」 -

2月21日(土) 17:00～18:30

ゲスト：津田貴司、中島伸

<ミニ撮り歩きワークショップ >

図書館周辺の風景を撮り歩く1時間半程度のワークショップ

2月14日(土) 15:00～16:30

2月15日(日) 10:00～11:30

【公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 練馬まちづくりセンター】

公益財団法人練馬区環境まちづくり公社は、平成23年5月、練馬区と連携・協力して『良好な景観の形成』に取り組むため、景観法の規定に基づく「景観整備機構」の指定を区から受けた。練馬まちづくりセンターは、公社の一部門として景観整備機構の運営を担い、住民の主体的な景観まちづくりを支援している。

【問い合わせ】

練馬まちづくりセンター 電話 03-3993-5451

ねりまの風景展 ホームページ http://nerimachi.jp/eventinfo/fukeiten_140227.php